

平成29年度地方創生推進交付金事業に関する効果検証結果(H30.7.17外部組織による検証)

| No. | 交付金種別 | 対象事業名 | 交付金を活用して実施した詳細事業 | 事業の効果に対するコメント | 事業見直しの必要性 | 実績に対するコメント | 数値目標に対するコメント | 今後の事業実施について |
|-----|-----------|--------------------------|---|--|------------|---|---|-------------------------------------|
| 1 | 地方創生推進交付金 | 奥能登国際芸術祭を活用した地域再生モデル構築事業 | <p>■奥能登国際芸術祭開催準備事業 事業費:40,000千円(実績40,000千円) 概要:芸術祭開催準備等に係る事業を実施 実施主体:奥能登国際芸術祭実行委員会 支出方法:負担</p> | <p>・常設作品、イベントを軸に常に情報発信を行う。地元経済界との連携を増やす。</p> <p>・芸術祭はもはやメジャーになっている。一連の事業は必要だったと思う。初回であることから、KPIの未達成は、ある意味しかたのない面もあるが、2回目(開催時)は達成して欲しい。「ニーズ」の視点をどこに置くのか、地元なのか来場者なのか。まずはニーズの把握をすべき。そのためには、外部のプロモーターをゲストに市民を交えたフォーラムの開催を連続的に実施されたい。</p> <p>・2020開催に向け、さらに機運を盛り上げる仕掛けが必要。</p> <p>・国際芸術祭ブランドをより活用したデザイン事業に取り組むこと。</p> | 必要1 不要4 | <p>・KPI③で設定している奥能登国際芸術祭を契機とする移住定住者数については、拙速に数値化できるものではないので不要。</p> <p>・課題となっている宿泊施設の確保、市外からのサポーター数の増に取り組むこと。</p> | <p>・珠洲市内における観光消費額は、交流人口1人当たり消費額を13,000円で固定としているが、アンケート等で調査できるのであれば、実績値に更新すると良いと思う。1人あたり消費額を増やすことも事業の目標として重要だと考える。</p> | <p>継続実施5 期限を設けて実施0 その他0</p> |
| 2 | | | <p>■サイクルツーリズム基盤整備促進事業 事業費:3,000千円(実績2,296千円) 概要:レンタサイクルの整備及びルートの策定 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p> | | | | | |
| 3 | | | <p>■滞在交流施設日置運営管理業務 事業費:5,000千円(実績3,956千円) 概要:遊休施設を活用した滞在交流施設日置の運営管理 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p> | | | | | |
| 4 | | | <p>■珠洲特産品リデザイン事業 事業費:5,000千円(実績4,482千円) 概要:奥能登国際芸術祭開催にあわせて、珠洲の地域資源を活かした既存の特産品について、デザイナーによるパッケージデザインや商品の見直しを行うことにより、特産品の価値を高め、ブランド化を図る 実施主体:奥能登国際芸術祭実行委員会 支出方法:負担</p> | | | | | |
| 5 | | | <p>■珠洲市空き家ホテル開発プロジェクト 事業費:5,000千円(実績4,698千円) 概要:市全体を一つのホテルと見立て、市内に点在する空き家を宿泊施設として活用するためのプロジェクト。空き家オーナー、民宿業者、飲食業者、窓口となるNPO法人等が連携しシステムを検討し、事業化に結び付ける 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p> | | | | | |
| 6 | | | <p>■関連アートプログラムの開催 事業費:5,000千円(実績4,952千円) 概要:常設展示を活かしたイベントや、子ども向けワークショップ等、芸術祭に関連するアートプログラムを実施 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p> | | | | | |
| 7 | | | <p>■多言語化対応事業 事業費:2,500千円(実績2,500千円) 概要:アートや本市における情報発信及び市内の公共サイン、交通機関、交流拠点などにおける多言語化に向けた事業を実施 実施主体:珠洲市 支出方法:委託</p> | | | | | |